**学校経営の原則軸　～村上の事例～**

《 学校経営の要諦（Ⅱ）》

学校経営の原則軸について

◆　学校のミッション・ビジョンと連動した《育てたい生徒像，資質・能力》の実現に向けた《学校経

営の柱立て（重点目標）》の前段として，学校経営の立場を担うものとして基本理念・原則を明

確にしておくことは必須とまでは言えませんが，大事なことだと思っています。

◆　多くの県立高校は長い歴史や多くの関係者の営みによって現在の輝きが形成されてきている

ことから，当該校の学校経営を担うことになったからと言って，それまでの営みを断ち切って新

たに独自の経営理念を掲げる例は稀有なことだと思っています。多くの校長はそれまでの蓄積

財産を受け継ぎ，自分の関りでその水準や輝きを少しでも高めて，良い形で次の担い手にバトン

を引き継ぐ気持ちで臨んでいることと思っています。

◆　その意味では，《学校経営の柱立て（重点目標）》の前段としての経営理念（経営の原則軸）は，

県立高校の場合，当該県の大きな理念・方針が前提にあることと当該校の蓄積財産の継承とい

う面が強くあることとで，明確に顕在化させる場面はあまりなく，むしろ「内に秘めた経営理念」

のような意味合いになり，校長等の個々人によって漠然としたイメージのようなものであったり

することから形に示される場合は少なく，あるとしても様々な内容・形態になるように思われます。

◆　ここでは，村上の事例を取り上げることによって，学校経営の理念的なもの・原則的なことにつ

いて考えを整理する参考にしていただければ幸いです。

〔参照：◇村上のページ＞★見方・捉え方＞【13】原則軸の意義〕　　　　　　　（令和５年１０月３１日）

